

明聖高等学校 保健室

ほけんだより 5月

爽やかな風が吹く季節となりました。1年生も学校に慣れてきたようで校内で元気に過ごす姿が見られます。しかし、寒暖差や連休での生活リズムの乱れにより体調を崩しやすいときでもあります。「ちょっと疲れたかな」と感じたら、早めに就寝し、睡眠をしっかりとりましょう。

健康診断のお知らせ

【定期健康診断とは?】

ひとりひとりの発育や健康状態を把握し、学校生活を送る上で注意することがないかどうかを調べるものです。

体調不良時に医療機関で受ける診断とは違い、学校の健康診断は、あくまでもスクリーニング(ふるい分け)なので、病気や異常の疑いを見つけるためのものです。病気や異常の疑いがあれば通知をしますので、主治医や専門の医療機関などで精密検査や治療を行ってください。

<日程> **5月13日(水)** 全日総合・ITコース対象

<検査項目> 身体測定、視力、会話聴力、診察、尿、歯科
[1年生のみ] 胸部X線、心電図

<持ち物> 筆記用具、尿検査の検体
[1年生のみ]無地のTシャツ

<注意事項>

❖ 学年、クラス、性別によって登校時間が変わります。

4月に配布した「健康診断について」の通知文で確認しましょう。

❖ 検尿容器は5/7(木)に配布します。5/13(水)の朝採尿し、提出してください。

ただし、生理中で提出できない場合は、二次検査日を伝えるので後日提出してください。

❖ 健康診断は、受診が義務付けられていますので、欠席のないようお願いいたします。

やむを得ず欠席した場合には、各自で医療機関にて健康診断を受診し、結果を学校に提出していただくことになります。



学校感染症と出席停止の基準

学校保健安全法第19条により、下記の病気にかかった場合、出席停止になります。下記の感染症にかかった場合は、速やかに学校（担任）へ連絡してください。

また、療養期間終了後、「感染症療養報告書」を保護者の方が記入し、生徒が登校する際に持たせ、担任へご提出ください。

用紙は、ホームページ【在校生、卒業生の方へ】【4.感染症の対応について（本校、全日総合コース・IT コース）】を確認の上、【感染症療養報告書】をプリントアウトし、記入してください。尚、病院の治癒証明書や診断書を提出する必要はありません。

分類	病名	出席停止の基準	
第1種	※1	治癒するまで	
第2種	インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで	
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで	
	麻疹（はしか）	解熱後3日を経過するまで	
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで	
	風疹（三日はしか）	発疹が消失するまで	
	水痘（みずぼうそう）	全ての発疹が痂皮化（かさぶた）するまで	
	咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状消退後2日経過するまで	
	結核	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで	
	髄膜炎菌性髄膜炎	認められるまで	
	新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで	
第3種	※2	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで	
	その他の感染症	溶連菌感染症	適切な抗菌剤治療開始後24時間を経て全身状態が良ければ登校可能
		ウイルス性肝炎	A型・E型：肝機能正常化後登校可能
		手足口病	発熱や咽頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止
		伝染性紅斑（りんご病）	発疹のみで全身状態が良ければ登校可能
		ヘルパンギーナ	発熱や咽頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止
		マイコプラズマ肺炎	急性期は出席停止
		感染性胃腸炎	下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能
		アタマジラミ	出席可能（タオル、ブラシの共用は避ける）
		伝染性軟属腫（水いぼ）	出席可能（プールでのビート板共用は避ける）
	伝染性膿痂疹（とびひ）	出席可能（プール・入浴は避ける）	

※1：エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、鳥インフルエンザ（H5N1）

※2：コレラ・細菌性赤痢・腸管出血性大腸菌感染症・腸チフス・パラチフス・流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎等